

令和7年第2回請願審査説明資料

1 請願第2号 水道・下水道使用料の値上げの中止を求める請願 ……………P 3

- 1 請願の内容
- 2 千葉市下水道事業会計及び千葉県営水道事業会計の現状について
- 3 請願に対する本市の考え方

請願第2号 水道・下水道使用料の値上げの中止を求める請願

1 請願の内容

- ① 市民の暮らしを支えるため下水道使用料の値上げを中止すること。
- ② 千葉県に対して、水道使用料の値上げ中止を求めること。
- ③ 国からの支援を求め、下水道施設の補強、整備を進めること。

2 千葉市下水道事業会計及び千葉県営水道事業会計の現状について

(1) 千葉市下水道事業会計の経営状況について

現状において、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した使用料収入が、コロナ前までの水準まで回復していないことや、過去に借り入れした企業債の元金償還額が高い水準で推移しています。

さらに、令和7年度より、本市の北西部の汚水処理を担っている千葉県への維持管理負担金が増額とされたことにより、令和8～9年度では年間約4億円の負担増となる見込みとなっています。

加えて、処理場やポンプ場の維持管理に係る人件費（労務費）も上昇しており、企業債借入金利の上昇による支払利息の増加も見込まれています。

このように、県の負担金引き上げられ、金利の上昇や人件費、電気料金等の維持管理費など、これまでと同様な下水道サービスを提供する上で必要な経費が増加しており、資金不足は避けられない見込みとなっております。

(2) 千葉県営水道事業会計の経営状況について

令和7年度第1回千葉県水道事業運営審議会において、県企業局は、今後の県営水道の収支見通しについて、給水収益は微増となるものの、建設事業費の増に伴う減価償却費の増加や施設の老朽化の進行による修繕費の増加などから、徹底的な支出の見直しを行った場合でも、令和8年度以降は赤字となり、資金不足も発生するとしており、厳しい経営状況にあると説明しています。

3 請願に対する本市の考え方

- ① 下水道事業会計は**独立採算が原則**であることから、資金不足については使用料改定により賄うべきと考えております。

本市では、改定による市民負担を可能な限り抑制するために、県への維持管理負担金の単価の引き下げを要望し、令和8～9年度における単価の見直しが行われた結果、この間の負担金を減額することができました。

また、これまで有償で処分していた下水汚泥を固形燃料化物として再利用する下水汚泥固形燃料化施設の導入による汚泥処分費の削減や、管路包括的民間委託の対象範囲を拡大するなど、維持管理コストの削減を図っていくこととしております。

これらの抑制策に令和6年度の決算見込を反映した結果、令和8～9年までの資金不足額は**約37億円となる見込みで、改定率を13.6%程度まで抑制することが可能となり**、先月開催された「千葉市下水道事業等経営委員会」において説明をしたところです。

令和7年1月に埼玉県八潮市で下水道の破損に起因すると考えられる道路陥没事故が発生し、その社会的影響の大きさから、下水道インフラの適切な維持管理の重要性が改めて認識されたところですが、本市において同様な事故が発生しないよう、施設の点検、調査、改築、修繕を進めるとともに、近年、激甚化・頻発化する自然災害に対し、市民の生命・財産を守るためにも、対策を進めていく必要があります。

こうした対策を計画的に進めるためには、安定した経営基盤の強化が必須であり、下水道使用料の改定は必要と考えています。

今後は、使用料の改定に向け、市政だより等を活用して下水道事業の経営状況や必要性、重要性を丁寧に説明し、市民の皆様に御理解、御協力をお願いしていく予定です。

- ② 前頁2(2)の審議会において、県企業局は、県営水道の令和8年度以降5年間の収支見通しで、赤字や資金不足を解消するためには23.7%の料金引き上げが必要となるものの、一般会計からの繰入を行うことにより、値上げ幅を18.6%に抑えることができると説明しています。

一方で、料金の値上げは、長期化する物価高騰により、厳しい状況にある市民生活に影響を与えることから、県には、値上げ幅の抑制や市民への丁寧な説明をしていただきたいと考えています。

- ③ 下水道施設の改築更新や耐震化など国土強靱化に資する事業については、これまでも国の「国土強靱化のための3か年緊急対策」や「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、国の補助金を最大限に活用しております。

今後は、本年6月に国により策定される「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づき、耐震化や老朽化、浸水対策などに必要な財源を確保するよう、引き続き、国に対して要望することとしております。